

インフルエンザ週報 2018年 第7週 (2月12日～2月18日)

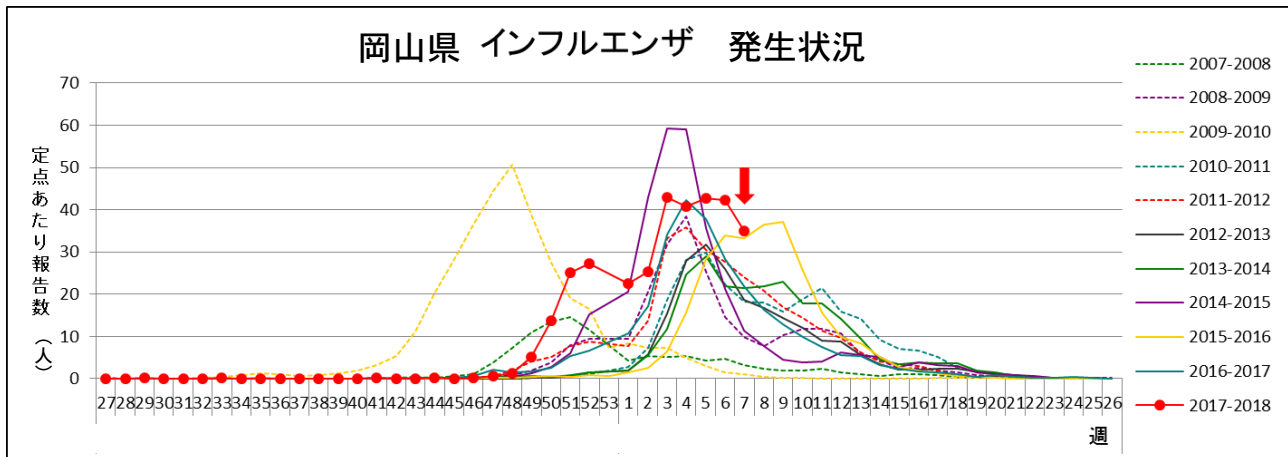
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で2,944名(定点あたり35.05人)の報告がありました。(84定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が106施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者15名の報告がありました。

【第8週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が55施設でありました。(2月19日～22日)



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で2,944名(定点あたり42.31→35.05人)の報告があり、第3週(1/15～1/21)以降横ばいで推移していましたが、約1か月ぶりに減少しました。患者数は減少したものの、依然として多くの患者が報告されており、大きな流行が継続しています。岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、備中地域(47.33人)、倉敷市(46.19人)、真庭地域(39.67人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。多くの地域で患者の減少がみられましたが、備中地域では前週より増加しています。

第7週の学校等の臨時休業は、106施設から報告がありました。前週(179施設)より減少したものの、第8週(2/19～)速報でも、すでに多くの施設から報告されているため、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校などを中心とした集団の中での感染に注意してください。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

◆インフルエンザは流行が継続しています。 さらなる感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな? という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- * 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,944	↘	備 中	患者数	568	↗
	定点あたり	35.05			定点あたり	47.33	
岡山市	患者数	669	↘	備 北	患者数	139	↗
	定点あたり	30.41			定点あたり	23.17	
倉敷市	患者数	739	↘	真 庭	患者数	119	↗
	定点あたり	46.19			定点あたり	39.67	
備 前	患者数	403	↘	美 作	患者数	307	↘
	定点あたり	26.87			定点あたり	30.70	

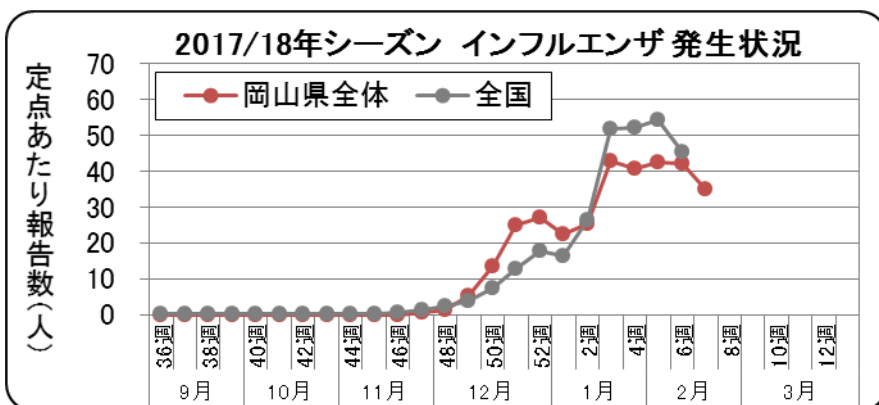
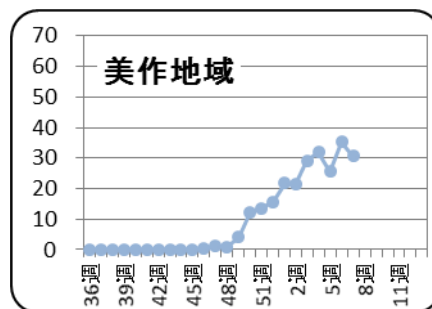
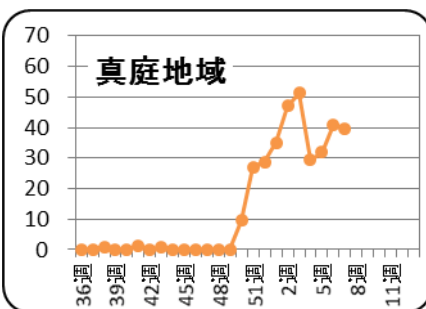
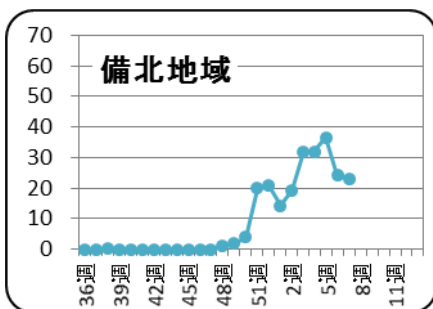
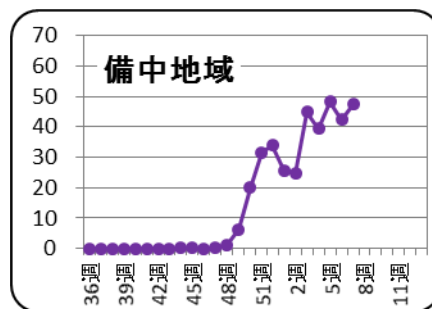
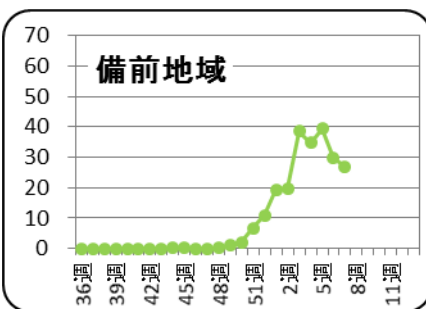
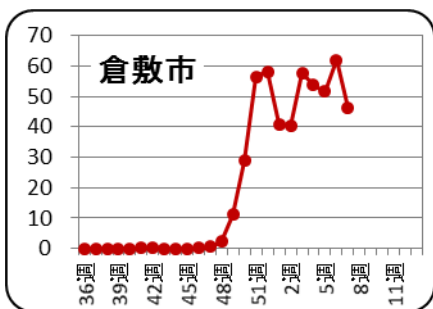
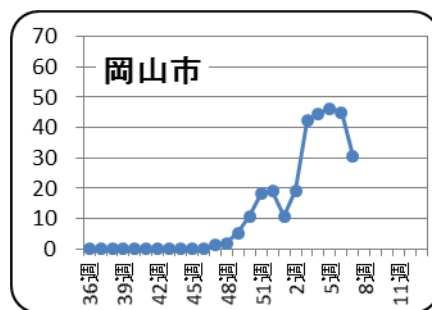
【記号の説明】 前週からの推移
 ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0< 10未満		0

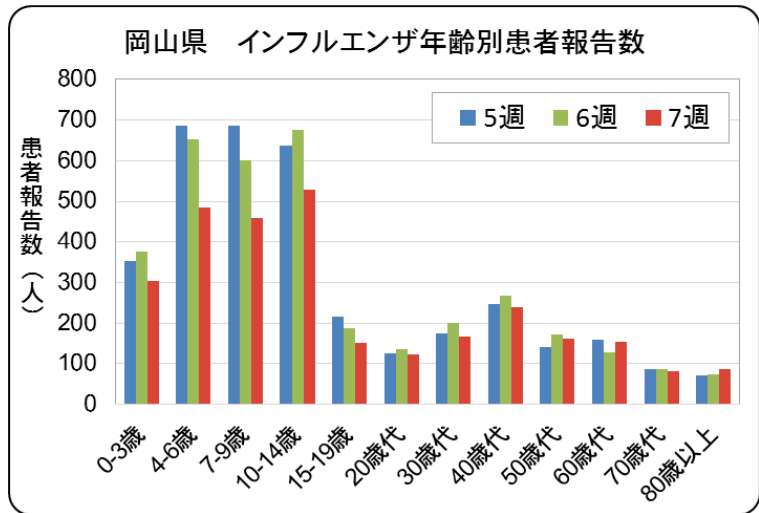
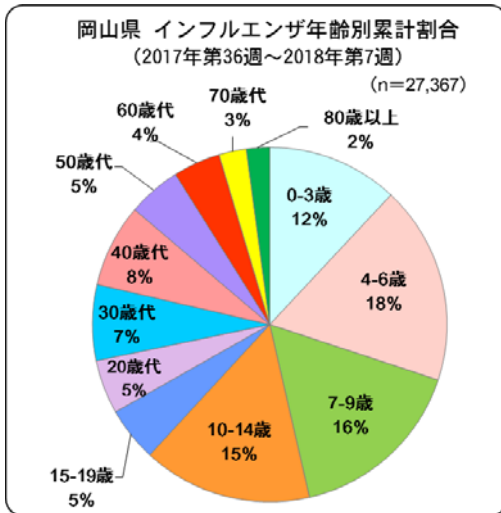


全国集計第6週(2/5～2/11)速報値によると、全国の定点あたり報告数は45.38人となり、前週(54.33人)より減少しました。都道府県別では、高知県(67.67人)、山口県(62.82人)、大分県(60.28人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、8道県で前週の報告数よりも増加がみられました。

[インフルエンザの発生状況について](#)
 (厚生労働省)

2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 18%、7-9歳 16%、10-14歳 15%の順で高くなっています。週別の患者報告数を見ると、多くの年齢層で患者の減少がみられましたが、60歳代と80歳以上で増加しています。

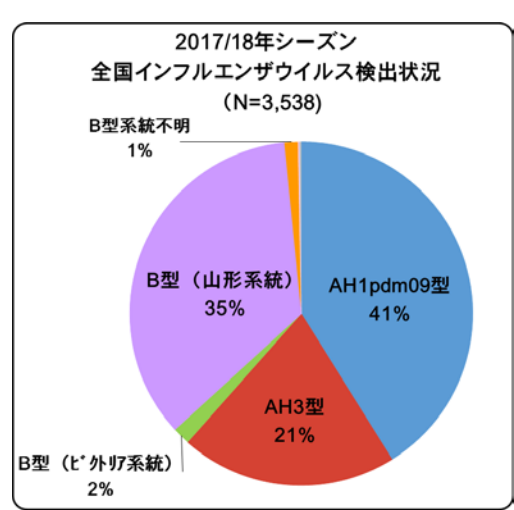
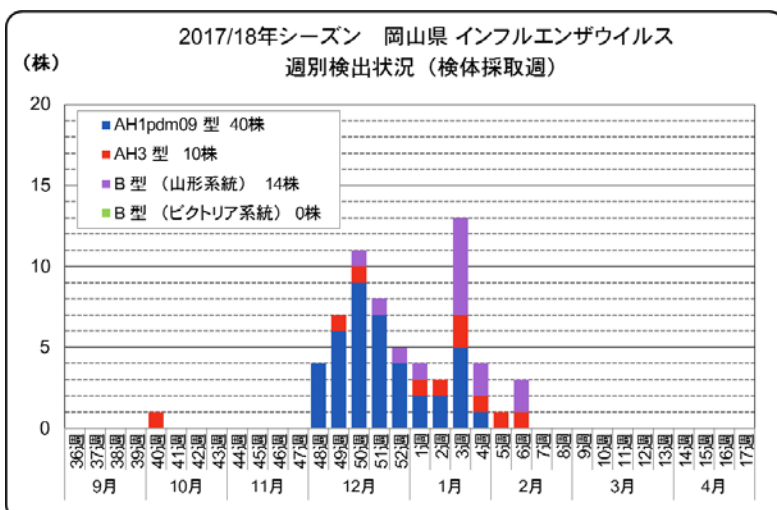


3. インフルエンザウイルス検出状況

第7週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、6株（詳細は下表参照）でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは64株で、その内訳は、AH1pdm09型 40株（62%）、AH3型 10株（16%）、B型（山形系統） 14株（22%）となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 41%、AH3型 21%、B型 38%〔山形系統 35%・ビクトリア系統 2%・系統不明 1%〕となっています。（2018年2月16日現在）

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3型	2018年第6週(2/5～2/11)	2018/2/6	倉敷市	50代	男	
インフルエンザウイルスB型	2018年第6週(2/5～2/11)	2018/2/6	倉敷市	小学生	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2018年第6週(2/5～2/11)	2018/2/5	倉敷市	中学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスAH3型	2018年第5週(1/29～2/4)	2018/1/29	倉敷市	20代	男	
インフルエンザウイルスB型	2018年第4週(1/22～1/28)	2018/1/24	倉敷市	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/16	倉敷市	幼児	女	

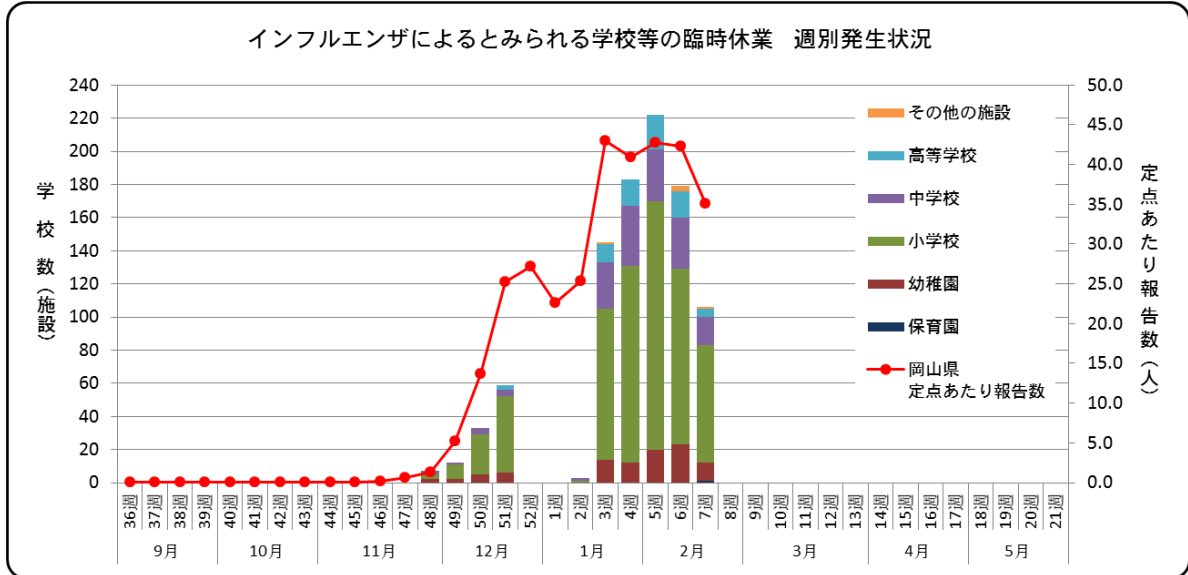


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 106 施設でありました。

【第7週 臨時休業施設数】

▽岡山市	47	▽倉敷市	16	▽総社市	6	▽津山市	5	▽井原市	4
▽赤磐市	4	▽玉野市	3	▽瀬戸内市	3	▽美作市	3	▽浅口市	3
▽高梁市	2	▽備前市	2	▽和気町	2	▽奈義町	2	▽笠岡市	1
▽新見市	1	▽真庭市	1	▽里庄町	1				



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1544	13967	1197	11120	106	949	1	15	20	205	85	729	H29.11.27
岡山市	695	5532	534	4245	47	351	0	2	5	38	42	311	H29.11.27
倉敷市	271	3150	201	2600	16	206	0	2	2	21	14	183	H29.11.27
備前地域	136	1357	124	1178	14	113	0	3	6	44	8	66	H29.12.13
備中地域	242	2108	177	1711	15	157	1	2	2	41	12	114	H29.12.5
備北地域	36	292	27	235	3	25	0	0	0	10	3	15	H29.12.4
真庭地域	25	239	22	200	1	21	0	1	1	14	0	6	H29.12.18
美作地域	139	1289	112	951	10	76	0	5	4	37	6	34	H29.12.4

2) 臨時休業施設数の内訳

第7週：106施設

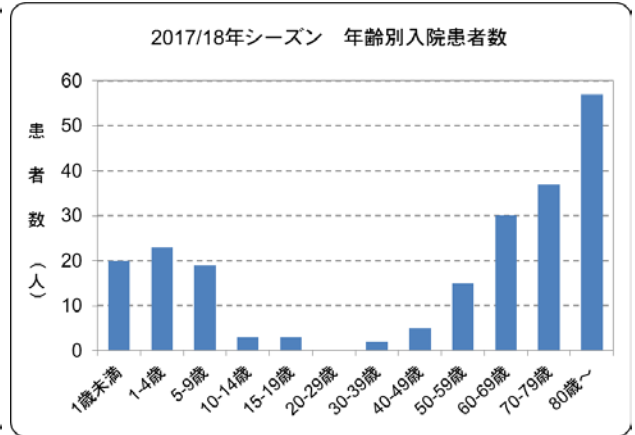
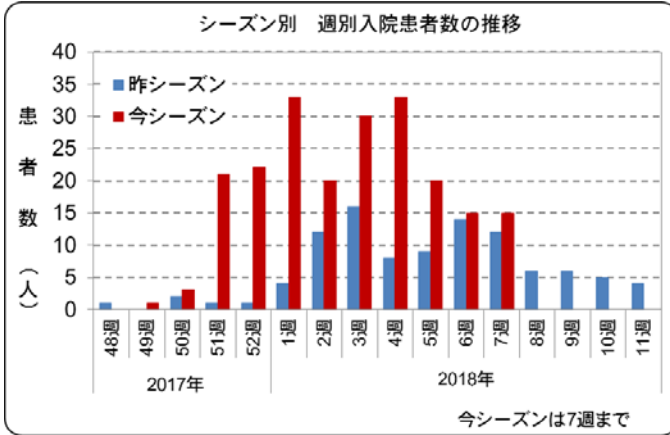
累計：949施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	1	1	11	95	71	620	17	156	5	72	1	5

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、15 名（1～4 歳 2 名、60～69 歳 2 名、70～79 歳 6 名、80 歳以上 5 名）の報告がありました。今シーズンの入院患者は、昨シーズンよりも多い状況です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第7週 入院患者報告数】

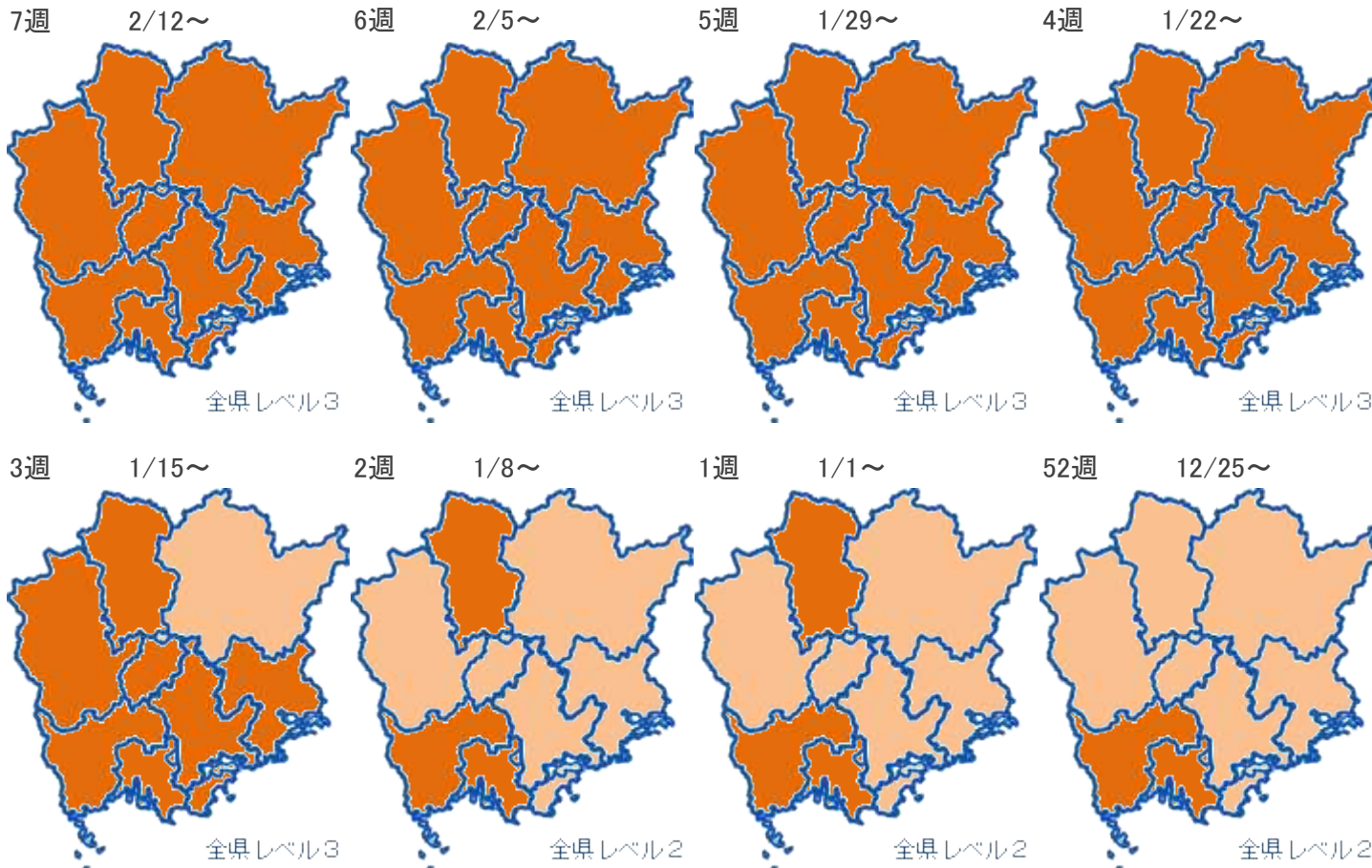
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		2								2	6	5	15
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*										1	2	1	4
頭部MRI検査(予定含)*												1	1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず		2								1	4	4	11

* 重複あり

【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	20	23	19	3	3		2	5	15	30	37	57	214
ICU入室*		1							1	3	5	2	12
人工呼吸器の利用*												1	1
頭部CT検査(予定含)*	1	3	2	1			1			5	4	10	27
頭部MRI検査(予定含)*	1	4	4	1			1			2		3	16
脳波検査(予定含)*		6											6
いずれにも該当せず	18	14	13	2	3		1	5	14	23	29	46	168

* 重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。